



大樹のこころ

授業を磨く

学校で最も大切なことは、言うまでもなく「授業」です。この授業をより良いものとするために、私たち教師は研鑽を積まなくてはなりません。自分は毎日校内巡視をして、各学級の授業の様子を観ています。時には、話し合いの場面で拳手をして授業参加をすることもあります。日頃から「授業で勝負すること」を本校の先生方をお願いしています。

そんな中で5月26日(木)に、外部講師をお招きして2年3組で体育科の授業研究が行われました。表現リズム遊びの単元で、「ジェットコースターに変身する」という活動でした。クラスを4チームに分けて、それぞれがジェットコースターの動きを考え表現します。どんな授業になるのかワクワクしながら参観しました。

授業の導入では、単なる準備体操ではなく音楽に合わせて、子供たちが可愛らしく踊ります。楽しいリズム運動で体をほぐします。体操が終わると、担任の友紀先生は子供たちにジェットコースターの映像を視聴させました。すごいスピードでぐるぐる回転するコースターを見て、子供たちは大喜び。「このジェットコースターのように、みんなのコースターもパワーアップさせよう」と学習課題が提示されていきました。前時までに、チームでジェットコースターの動きは一応完成しています。本時では、互いのチームの動きを見て、自分のチームのジェットコースターの動き方をよりパワーアップしていくことが目標。そこで「ほめほめ見つけタイム」と称して、それぞれのチームの表現を発表する時間が設定されました。ジェットコースターという同じ題材ですが、子供たちの発想は豊か。列車のように1列になりながら、上下の動作で上り下りを表現するチーム。回転する場面で、全員が手をつないで輪になってぐるぐる回るチーム。馬跳びを取り入れたり、1台1台のコースターに人が乗っている様子を表現したりしているチームもありました。他のチームの発表を自分のチームのパワーアップのために、タブレットで録画をしていきます。その映像を確認しながら、自分たちのジェットコースターを進化させていきました。



この授業で良かった点は二つあります。一つ目は「子供たちの発想の豊かさ」が見られたことです。もう一つは、「学習規律がしっかりできていたこと」です。体育の授業における約束事がきちんと守られ、メリハリのきいた活動が行われていました。とても立派な姿でした。授業が終わった後に、友紀先生は「2の3の子供たちがしっかりやってくれて、さらに好きになりました」と言っていました。授業は子供たちの学びを促進するだけでなく、教師と子供との人間関係も構築していくのです。